



3月はそろそろ終わりですね。ポーポキが住んでいる神戸には、まだ3月なのにさくらが咲き始めています。みなさんに、たくさんのさくらを観る機会がありますように！

Popoki's Hot News!

COMING SOON!



4月21日 15:00～ (14:30 会場) @神戸学生青年センター

「2018年2月のポーポキ友情物語活動報告会」

東日本大震災から7年も経ちました。大きな被害を受けた大槌町は今、
どういう状態か？ポーポキの友だちはどんな体験をしたか？

新しいにゃん、古にゃん、みんなで大槌町を中心に災害、安全、安心について話し合いましょう。詳しくは8～9ページをご参照ください。

ポーポキの取り組みについて新しい論文を2本！

Ronni Alexander (2018) Teaching Peace with Popoki, *Peace Review*, 30:1, 9-16,
DOI: 10.1080/10402659.2017.1419669 [リンク](https://doi.org/10.1080/10402659.2017.1419669):

<https://doi.org/10.1080/10402659.2017.1419669>



Ronni Alexander (2018) Drawing Disaster: Reflecting on Six Years of the Popoki
Friendship Story Project, *International Studies Journal*. Available at:

http://www.research.kobe-u.ac.jp/gsics-publication/jics/25-2/alexander_25-2.pdf 又は <http://www.lib.kobe-u.ac.jp/kernel/seika/ISSN=09198636.html>

「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちのまゆこにゃんは、次の「一言の平和」を送ってくれました。「仕事終わりに、海に沈むきれいな夕陽を見ることができたとき。

綺麗な景色を、「あたりまえ」と思わずに楽しむことができる心を持つこと。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !



ポーポキ&フレンズ in 大槌町 その1

ポーポキと私たちは2月9日（金）から 12 日（月）までの4日間にかけて、大槌町に行ってきました。今回は、その様子を今月号と来月号の2回に分けて、レポートしていきたいと思います。

第1日目ー何もかも初めてー はじめての雪

アンギにゃん
和訳 ありパンにゃん

大槌町みたいな遠い場所、私は日本に留学に来てから一度も行ったことがありませんでした。神戸を出発してから、電車で飛行機、バスと、いろいろな交通手段を利用しました。私たちは少しだけ東京で滞在した後、夜行バスで大槌町に向かいました。

一晩中移動した後、バスが釜石市から大槌町へ向かっている途中で、私とアグネスにゃんはとってもゴージャスな日の出に気づきました。日の出が出ている山やその周りは、なんと雪で覆われていたのです。今まで熱帯の国でしか生活してこなかった私たちにとって、まさに冬のワンダーランドというようなこの景色は、しばしば映画が見たことがあるだけでした。この雪は神戸で見た雪より、ずっとすごかったです。



お茶っこのみなさんからの温かい歓迎

アグネスにゃん
和訳 ありパンにゃん

2月9日（金）に大槌町について間もなく、私たちは仮設住宅に向かい、そこで数人のおばちゃんとお会いしました。自己紹介をして、熱意をもってポガをした後、わたしたちはお茶っこへと案内されました。お茶っこは終始みんなであっかい会話をするイベントです。そこで、私たちは緑茶とお菓子をみなさんと一緒に食べました。私たちはあらゆることとお話しました。おばちゃんたちは違う街やインドネシアという違う国の人たちと会えて、幸せそうでした。インドネシアの気候や、おもしろい場所、あるいは私たちの家族のことまで、いろいろなことに興味をもって質問してくれました。その日の大槌町の寒い天気でしたが、お茶っこの中は全く別物でした。とっても寒い場所で、私たちはあったかくて良い人たちとあったかくておいしい日本のお茶を見つけることができました。



高台からの眺めー過去と現在ー

アンギにゃん

和訳 ありパンにゃん

大槌町の年配の方々からのあたたかい歓迎のあと、私たちは高台にあるコミュニティセンターを訪ねました。そこからは大槌町の海岸沿いの景色を見渡すことができます。また、この場所は2011年に津波が起きたときに、人々が駆け上がった場所でもあります。彼らはそこで立って、波がどのように町に押し寄せてきて、自分たちの故郷がどのように破壊されていったのか見ていたのです。

私たちは、そこで大槌町出身で被災者である伊藤陽子さんと会いました。彼女は私たちに、津波が来る前の大槌町や、その直後について語ってくれました。そして、津波が起きたときやその後に彼女や他の方々が撮影した写真を私たちに見せてくれました。また、伊藤さんは津波がきた直後やその後に記載された新聞記事もいくつか持ってきてくれていました。驚いたことは、国内の新聞記事のほとんどは福島原子力発電所のことしか記載していなかったことです。



この後も私たちの活動は続きました。その後、私たちはショッピングモール MAST に行き、そこで行う予定のポーポキ友情物語の展示とワークショップの準備をしました。そこで、私たちは布に絵を描いてくれたポーポキのお友だちのために展示の準備をしました。その日の午後は、すべて次の日の展示の準備に使いました。展示パネルやテーブル、イスをならべて、布をはっていきました。その布には、カラフルに描かれた絵を通して、世界中のポーポキのお友だちからのメッセージがつけられています。



第2日目 展示

いしのにゃん

2月10日の朝、私がマストに到着してみると既に、震災から7年間のポーポキ友情物語で描かれた大きな布が展示されていました。9日のうちにほとんどの準備を下さったみなさん、ありがとうございました。それからみんなで飾りを増やして、折り紙のポーポキ、大きくて細長〜いポーポキも登場しました。

訪れた方の中には、2011年5月に描かれた布を見て、「そんなに早くから来て活動しているとは驚きです」と言われる方、また将来に備えて「次世代に伝えて真剣に受け止めてもらいたいけれどなかなか難しい」という声もありました。もちろん、ご自身が避難した時の様子を昨日のここのように話して下さる方もいました。大槌町を初めて訪れた私でしたが、来られた皆さんがこの7年に思いをめぐらして、それを表現し共有して下さったことに、ただただ感謝でした。

国際交流体験ワークショップ



アグネスにゃん&アンギにゃん

和訳 いしのにゃん

ポーポキの活動の2日目には、ワークショップも開催されました。このワークショップの目的は、日本とインドネシアのポーポキの友人たちがイベントに参加することで、私たちの経験を共有し交流することでした。両国とも、地震や津波、火山噴火といった自然災害への脆弱性を共通して持っています。

このワークショップは興味深い活動ばかりでした。ポーポキの展示を訪ねてイベントに加わって下さ

った参加者もいました。まず、ポガでリラックスして心を落ち着けました。そしてポガでリフレッシュした後、続けて新しいお友達との自己紹介を行いました。私たちは、故郷を振り返り、生涯でどのような自然災害の経験をしたか、という話を共有しました。ここまでで、他の人の経験を聞いたり共有することで、気持ちがより軽くなり、またより平和な気分になることが出来ると私たちは感じました。

その後は、お話の時間でした。2つのグループに分かれ、各グループはお話を発展させるための5つのキーワードを選びます。お話は、災害や災害に関連するものを含むこと。より理解し易く惹きつけるものにするために、ポーポキを登場させることを含め、お話には絵やイラストを付けなければならず、かつ、ハッピーエンドでなければなりません。

お話している時の私たちはこのような様子でした。



お話の時間は本当に素晴らしいものでした。中には、大槌のお友達の気分を害するかもしれないキーワードもありました。でも、各グループがカラフルなイラストを使って物語を完成させました。あれほど短い時間で新しいお友達を作り、一緒にとても楽しい時間を過ごすことができたことは、大変興味深いものでした。

そしてもちろん、ポーポキのおかげで楽しくハッピーに終わることが出来ました。

ワークショップ グループ1

いしのにゃん

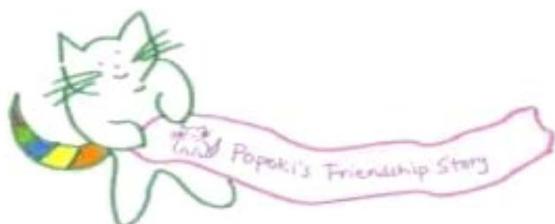
泣いているポーポキ。物語はどのように続くでしょうか。

私たちのグループが考えた物語では、土砂崩れに遭い避難所にいたポーポキが、新巻鮭をもらってハッピーになりました。それぞれが知っている、被災、避難、そしてハッピーな様子を描きました。あまり意識していませんでしたが、実は本当の紙芝居のシナリオでも、ポーポキは魚をもらって元気になります。

涙を流している状態から、配られたキーワードを使って、ハッピーエンドになれるストーリーを作る。私たちが生きる毎日も、そうやってなんとか現状を受け止めながら前向きになろうとする繰り返しかもしれません。だとしたら、私たち一人ひとりにとっての魚は何かでしょうか。それをくれるのは誰なのでしょう。一人でも多くの誰かに魚を手渡せるといいな、と思います。



3日目、4日目については次回のポーポキ通信でレポートします。お楽しみに。



Popoki's Interview

アンギにゃん、ありばんにゃん
対象：植田 俊郎さん

今回は、東日本震災からもうすぐ7年経とうとする岩手県大槌町で、植田俊郎さんをインタビューしました。植田さんには以前にもインタビューをさせていただきました。（詳しくはポーポキ通信 No.91 をご覧くださいね。）あれから植田さんの周りではどのような変化があったのでしょうか。震災当時から今現在のことまで、いろいろなお話を私たちは聞くことができました。

—お名前からお願いします。

植田俊郎（うえた としろう）です。開業医をやっています。

—津波が起きたときは、どのような状況でしたか。

2階のクリニックにいました。14時46分に地震が起きて、とても驚きました。その揺れはとても大きくて、一人の患者さんが驚いて一瞬意識を失うほどでした。そのあと、患者さんは全員



帰りました。そして、3階は住まいになっていて、そこに家族もいたから、津波が来ることを予想して、全員で4階の屋上に逃げました。そうしたら、屋上の高さぐらいで海から白い水が押し寄せてきたのです。結局、3階まで浸水したので、その日は屋上で寝ました。そして、次の日に自衛隊がヘリコプターで助けに来てくれました。よく生きていたと思います。

ーなるほど。インドネシアでも災害はよくあるので、そのような状況はよくわかります。私は初めて大槌町に来たのですが、とてもきれいな街だと思いました。まだ、そんな悲惨なことが起こった場所だというイメージがあまりわきません。

僕もきれいな街だと思います。金沢、東京、と離れた場所で仕事をしてから、18年ぶりに帰ってきて、ここで医者をはじめたから、特にそう思います。

ー津波がきたあとは、お仕事が大変だったんじゃないですか。

いや、そのあとは医者も十分いましたので。7日後には長崎大学の医療支援チームも支援に来てくれていましたしね。ただし、施設が少なかったんですけどね。また、阪神淡路大震災のときと比べると、東日本大震災のときは患者が少なかったんです。みんな津波に飲み込まれてしまったので、生きるか死ぬかどっちかだったんです。もし、阪神淡路大震災と同じような状況だったら、とても足りなかったでしょうけど。

ーそのときと比べると、今は建物もたくさん建ってきましたよね。

建ってきたけど、状況にあんまり変化はないですね。たくさんの方が苦しんでいるし、不安に思っている。

ーそうなんですか。

いろんなものがないですよ。まず、住むところにしてもまだ10分の1ぐらいしか建っていないんじゃないですかね。それに、人も減ってきています。特に、若い人が盛岡に仕事に行くなどして減ってきています。

ー植田さんの仕事に変化はありましたか。

病気に関する変化はないですね。そもそもここは震災前から医療過疎が進んでいた地域です。本当は3、4時間以内にカテーテルを使わないといけないみたいな状況もあるのですが、そういうときはもう我慢するしかないですよ。

このほかにも、植田さんとは私たちの住んでいる地域のことや家族のことなど、いろいろなことを話しました。そういう日常的なことを話しているときの植田さんの様子は、私たちと何ら変わりありません。しかし、震災から7年経った今でも、いろいろなことを抱えて生活されているということも、このインタビューから知ることができました。

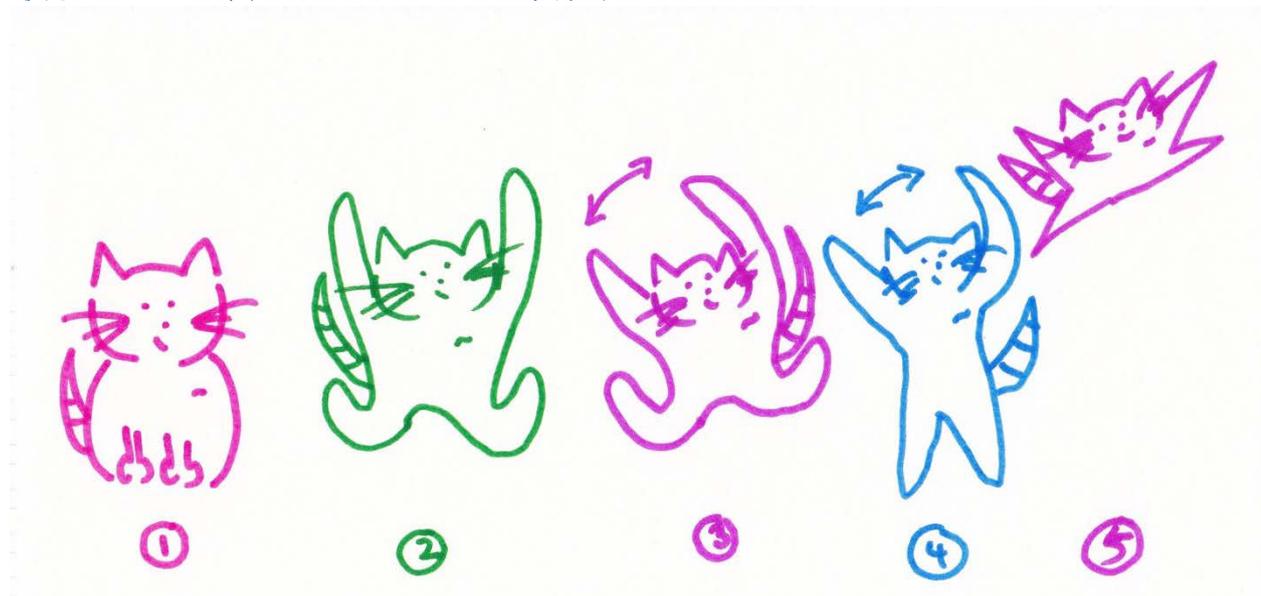
最後になりますが、植田さん、今回はインタビューに応じていただき、ありがとうございました。また、ポーポキと一緒に大槌町に伺いますね。



ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 118

今月のテーマは、うれしさをストレッチで表現する！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
2. では、今はうれしい！手を上へ伸ばし、高くジャンプ！しっぽも上へ伸ばしてね。
3. 次は上と同じようにジャンプをしながら、左へわき腹を伸ばして、ストレッチ！今度は右側へ！
4. 最後は、立ったまま、わき腹を左へ、右へとゆっくり楽しくストレッチしましょう。
5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！
お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？



次回のポ一会： 3月29日 19:00～ 灘薬剤師会(六甲道)

- 4.6 ユネスコチェア・キックオフシンポ@神戸大学。13:00～。瀧川記念館2階。災害やジェンダー、あるいは夏にインドネシアで開催される国際的なサマープログラムに興味ある方はぜひご参加ください！(p.10をご参照)。
- 4.21 2月の大槌活動報告会@神戸学生青年センター。会議室A.14:30受付、15:00～17:00。友情物語活動経験者、興味ある人、これから興味を抱く人…。みんな、ぜひ！(p.9を参照)。
- 4.29 17:30-19:30 イベント「Author's Live」Bar Iznt 神戸市三宮。ろにゃんがポーポキの本から英語で読む。<http://iznet.net> (p.11をご参照)

ポーポキの友だちから

新しい絵本：中條聖子著、ロニー・アレキサンダー訳『森のかんづめ』（日英版）エピック 2017年

ポーポキ・ピース・プロジェクト/Popoki Peace Project

大槌町活動報告会

Report meeting on Otsuchi activities

ポーポキ・ピース・プロジェクトは、2005年より身体と感性と想像力を使って平和を創造する活動をしている団体です。2011年からは、岩手県大槌町を訪れて「友情物語」という活動を行っています。

このたびは2018年2月9日から2月12日までの4日間滞在させていただいた大槌町での活動報告会を行います。大槌町のことやポーポキの活動について話し合えればと思います。ご興味がありましたら、どうぞお越しいただければ幸いです。

Popoki Peace Project is an organization emphasizing use of the body, senses, and imagination in creating peace through workshops and other activities from 2005. Since 2011, we have visited Otsuchi-cho, Iwate Prefecture and done activities of Popoki Friendship Story.

Between 9 and 12 February this year we stayed at Otsuchi-cho and did activities. We will report about these activities in Otsuchi. We are looking forward to telling and talking about Otsuchi-cho and Popoki activities. If you are interested in our activities, you are welcome to join us at our report meeting on Otsuchi activities!

日時/Date : 2018年4月21日(土) 15:00~17:00 (14:30会場・open)

場所/Venue : 神戸学生青年センター Kobe Student Youth Center

神戸市灘区山田町3-1-1 Nada-ku Yamada-cho 3-1-1 Tel.078-851-2760

参加費/Fee : 無料 Free

言語/Language : 日本語/英語 Japanese/English

主催/ : ポーポキ・ピース・プロジェクト Popoki Peace Project

(お問い合わせ・お申込み/ Information and Reservations
ronniandpopoki@gmail.com)



会場地図 MAP



ユネスコチェア 連携機関

- Gadjah Mada University (インドネシア)
- MERCY Malaysia (マレーシア)
- National Kaohsiung University of Science and Technology (台湾)
- National Women's Education Center (NWECC) (日本)
- Network for International Development Cooperation, Thammasat University (タイ)
- University Tunku Abdul Rahman (UTAR) (マレーシア)

神戸大学 ユネスコチェア キックオフシンポジウム

ジェンダーや脆弱性に配慮した減災対策
Gender and Vulnerability in Disaster Risk Reduction Support

2018.4.6 FRI.
13:00 - 17:00

神戸大学 瀧川記念学術交流会館 大会議室
同時通訳有り

アクセス

電車・バス
阪急電鉄「六甲」駅、
JR「六甲道」駅、
阪神電鉄「御影」駅から
神戸市バス36系統
「鶴甲団地」行に乗車、
「神大文理農学部前」下車



1995年の阪神・淡路大震災を経験した神戸大学では、災害時にジェンダーの問題、弱者の問題が日常よりも一層大きな問題となり、被災者・支援者に影響することを学び、その観点からの学術的発信や被災者支援などをしてきました。この経験をもとに、神戸大学のユネスコチェア事業は、国内外の連携機関と経験や研究の成果を共有しつつ、すべての人にとって安全安心な世界をつくるための研究・教育を行います。

プログラム

- 12:30 受付開始
- 13:00 合唱 「しあわせ運べるように」 神戸大学附属中等教育学校 コーラス部 有志
連携機関所在国の災害および災害援助の紹介
- 13:30 開会挨拶 神戸大学長 武田 廣
- 13:40 来賓挨拶 文部科学省 国際統括官 川端和明 氏 (予定)
- 13:55 来賓挨拶 ユネスコ 男女共同参画局長 S.G. Corat 氏
- 14:10 来賓挨拶 ユネスコ 地球科学防災課プロジェクト・コーディネーター 福井武夫 氏
- 14:25 事業説明 神戸大学男女共同参画担当理事 内田一徳
- 14:40 休憩
- 15:00 パネルディスカッション
(コーディネーター：神戸大学男女共同参画推進室長 アレキサンダー ロニー)
パネリスト：ユネスコチェア連携機関代表者
- 16:30 功労者表彰
- 16:45 閉会挨拶 神戸大学男女共同参画担当理事 内田一徳
- 17:00 懇談会 神戸大学瀧川記念学術交流会館 食堂



文部科学省国際統括官
日本ユネスコ国内委員会事務総長
川端和明 氏



ユネスコ
男女共同参画局長
Saniye Gülsür Corat 氏



ユネスコ
自然科学局 環境・地球科学部 地球科学防災課
プロジェクトコーディネーター
福井武夫 氏

お問い合わせ・お申し込み先

国立大学法人 神戸大学 男女共同参画推進室

E-Mail : gnrl-kyodo-sankaku@office.kobe-u.ac.jp / TEL: 078-803-5471

※参加希望の方は、事前に【氏名・所属・連絡先・懇親会参加可否】をご連絡ください



Authors Live

Free
Admission

Sun., April 29, 2018
5:30-7:30 pm
Bar Iznt, Sannomiya, Kobe
<http://iznt.net>

- * Four Authors reading
- * Mingling afterwards
- * Info: <http://jaredangel.com>
angel@jaredangel.com



Ronni Alexander
Professor, Kobe University
Reading selection from the *Popoki Peace Book* series
alexroni@kobe-u.ac.jp



Peter Mallett
Winner, Writers in Kyoto Writing Contest (2016)
Reading 'Sunset for Dolores' from the anthology
Eternal (Hammond House 2017)



Deborah Iwabuchi
Japanese-English translator, Minamimuki Translations, Ltd
Reading "Tomosui" by Nobuko Takagi translated by Deborah
www.minamimuki.com // deborah@minamimuki.com



Elaine Lies
Reuters Correspondent
Reading from a collection of flash fiction

Popoki in Print

ポーポキ通信のバックナンバー : <http://popoki.cruisejapan.com/archives.html>

- 「ポーポキのミニ平和映画祭」**「こくしのまど 52」**『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の**「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ!** <http://www.interpeople.or.jp>
- 『平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに』『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- **「ボランティア 37 団体に助成 大和証券福祉財団**『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- **「原爆の熱線で焼き付いたー “人影”再現、非核誓う**『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- **「被災 秘めた思い描いて」「ひと抄**『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 『安全』『安心』の社会は足元から」、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. “Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War.” *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- **「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に 9 条がある」NO : 66** 2012 年 5 月 12 日 [子どもと守る9条の会]
- **「布に希望 60メートル」**阿久沢悦子 『朝日新聞』 2012.1.21 (兵庫・29面)
- **「平和祈る声まとめ本に」**斎藤雅志 『神戸新聞』 2012.1.19 (伝える 1・17 3・11、22面)
- K. Wada. “Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?” *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. “The Art of Healing” (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) “The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- **「省窓」『神戸青年』 No.606 2011.1.2 p.1**
- No.1 **「『ポーポキ、平和って、なにに色?』の背後にあるもの** (連載) とさぼりライフ第 19 号 2010.10:4
- 堀越健志**「シリーズ:こくさいのまで⑮(パレスチナについて)**『神戸青年』 No.604 2010.9-10
- **「みんなでやれば、何にかが変わる！」** THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 ‘Heart Lines’ 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- “Human Rights, Popoki and Bare Life.” *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 **「ポーポキ、平和って、なにに色? ロニー・アレキサンダーを迎えて」**『PPSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- **「友情」第 2 号** 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- **「ともに・・・」** No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャンレジ情報 p.12
- 区民情報誌**「なだ」** 2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャンレジ情報。
- **「『ポーポキ、友情って、なにに色?』「私のいち押し」** 奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通信)
- **「友情って・・・考える絵本」** 朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- **「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と～」** れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No. 259, p.11
- **「カティング・エッジ」** 第 35 号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なにに色? ポーポキのピース・ブック 2』(レベッカ・ジェニソン) p.3
- **「猫を通して平和を考える 絵本の第 2 弾を出版」**(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- **「ポーポキ、平和ってなにに色?」** KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.3.1 No.593 p.2
- **「ポーポキ、ゴミってなにに色?」** KOBE YMCA NEWS「神戸青年」 2009.1.1 No. 592 p.2
- **「友だちになってくれませんか?」** RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクト・メンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』 ひょうご部落解放・人権研究所 2008. 10 500 円。詳しくは: blrhyg@osk3.3web.ne.jp
- **「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」** エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)
- **「ピースセミナー in 熊本 あなたにとっての「平和」とは?」** Kumamoto YMCA News 10; Vol.437 October 2008, p.1
- 神戸新聞 **「人権宣言 兵庫から発信 全 30 条 イラストで表現 地元ゆかり 6 名がパネル制作」** 2008.10.8. 10





わたしにとってのポーポキ

バシールにゃん

私にとってポーポキは、積極的な平和の象徴であり、他の人々の平和を害しない。

ポーポキは、みんながお互いに共有できる幸せの象徴です。

ポーポキは、私たちみんなが平等である事を感じさせる無差別の象徴です。

ポーポキは、鳥が空を飛んだり、くじらが海で泳ぐように自由の象徴です。

ポーポキは、敵ではなく友情関係にいる時、安全を感じる象徴です。

ポーポキは、災害の時、安心だと感じる事ができる象徴です。

ポーポキは、人生を諦めないヒントを与えてくれる象徴です。

ポーポキは、貧しくて食べられない人々に食べ物を分け与える事によって得られる満足の象徴です。

ポーポキは、憎しみを持つ人に愛情を与える象徴です。

ポーポキは、他の人を笑顔にする象徴です。

ポーポキとは、自分がしたい事をした時に平和を感じる象徴です。

私はこれらの事を感じたり、出来たりした時、平和な気持ちになります。特に、私がしたい事のできる機会がある時平和を感じます。

平和な心を感じたい時、私はギターを弾いたり、歌ったりする事が好きです。

自然を描く事で平和を感じます。

寂しそうな海に見える船や、岩にはね返った波や、海の上に昇っている輝く月を描くと、平和な気持ちになります。まあ、プロフェッショナルではないけれど・・・



私が思うのは、ポーポキの平和の旅の一部は、いろいろな色で絵を描き、その事で平和を考える事から始まりました。

では、あなたはどう思いますか？

平和の事を考える時、ポーポキはあなたにどういう意味をもたらしますか？

あなたは、平和についてみんなの考えや行動が平和な世界をつくれると思いますか？

私は、ポーポキは、それを考える方法を教えてくれると思います。

ご協力お願いいたします！



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10か国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なされたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.com へお問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920-4-280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口 1500 円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!!